授業科目	キャリ	キャリアデザイン			担当教員	佐々木 博幸				
対象年次・学期	1年・復	 後期		必任	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	15 回	時間数			
授業目的	次年度	次年度から始まる就職活動へ向けた準備を行う。								
到達目標	企業研究	企業研究、応募書類作成、面接対策を理解する								
テキスト・ 参考図書等	最新最	最新最強の CAB・GAB 超速解法('24 年版)								
	評価ス	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポー		0							
評価基準	小テス	٢	0	授業⁄	Nの取り組み姿勢で評価します。 					
	提出物		100							
	ての他		100							
留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1		を知る・業界を知 等の基本動作	る・	企業研究、就	忧職サイトへの登録	录、挨拶、入	退室等基本動作		
	2		を知る・業界を知 等の基本動作	1る・	企業研究、就	忧職サイトへの登録	录、挨拶、入	退室等基本動作		
	3	挨拶等	を知る・業界を知 等の基本動作		企業研究、就	忧職サイトへの登録	录、挨拶、入	退室等基本動作		
	4		を知る・業界を知 等の基本動作	る・	企業研究、京	忧職サイトへの登録	录、挨拶、入	退室等基本動作		
	5		を知る・業界を知 等の基本動作	1る・	企業研究、就	忧職サイトへの登録	录、挨拶、入	退室等基本動作		
	6	提出書			履歴書・エン	ノトリーシート作成	į.			
	7	提出書			履歴書・エントリーシート作成					
	8	提出書	書類対策		履歴書・エントリーシート作成					
	9	提出書	書類対策		履歴書・エントリーシート作成					
	10	提出書	書類対策		履歴書・エン	ノトリーシート作品	Ì			
	11	面接效	対策		自己 PR 作成	、面接試験対策				
	12	面接效	対策		自己 PR 作成	、面接試験対策				
	13	面接対	対策		自己 PR 作成、面接試験対策					
	14	面接対	対策		自己 PR 作成	、面接試験対策				
	15	面接效	対策		自己 PR 作成、面接試験対策					

授業科目	キャリアデザイン	担当教員	佐々木博	‡	
12×111	11333313	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	学科基础	楚学習			担当教員	佐々木 博幸				
 対象年次・学期	1年・前	 前期		必但		必修	単位数			
					授業回数		時間数			
授業目的	ICT の学習に必要な基礎スキルの習得と演習環境の構築を行う。									
到達目標	今後の授業に対応した PC 操作スキルの習得と環境構築									
テキスト・ 参考図書等	なし									
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー 小テス		0	進供が	た来れ トルギモ	通りの取り組みか	でラフォスニ	L L		
ит пише	提出物の				ト未のより士順	通りの取り組みが	、兀」りると	2		
	その他		100							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入からプログラミング環境の構築と基本 ICT リテラシーの理解					
	2	PC 環	境設定とICT分ラシー学習	野の	電源の投入からプログラミング環境の構築と基本 ICT リテラシーの理解					
	3	PC 環	<u>「</u> 境設定と ICT 分 ラシー学習	野の						
	4	PC 環		野の	***					
	5		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の						
	6	リテラ	境設定と ICT 分 ラシー学習		電源の投入からプログラミング環境の構築と基本 ICT リテラシーの理解					
	7		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入からプログラミング環境の構築と基本 ICT リテラシーの理解					
	8	リテラ	境設定と ICT 分 ラシー学習	_						
	9		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入か ラシーの理解	Nらプログラミンク 『	ブ環境の構築	と基本 ICT リテ		
	10		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入か ラシーの理解	Nらプログラミンク Y	ブ環境の構築	と基本 ICT リテ		
	11		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入か	ヽ゚ゟプログラミンク ゚゚゚	ブ環境の構築	と基本 ICT リテ		
	12	PC 環	<u>→ </u>	野の						
	13	PC 環	境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	ラシーの理解					
	14	PC 環	境設定と ICT 分 ラシー学習		ラシーの理解			-		
	15		境設定と ICT 分 ラシー学習	野の	電源の投入からプログラミング環境の構築と基本 ICT リテラシーの理解					

授業科目	学科基礎学習	担当教員	佐々木博幸	
		実務 経験		
対象年次・学期	1年・前期	担当教員		
授業形態		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当教員		
		実務 経験		
		担当教員		
		実務 経験		
		担当教員		
		実務 経験		
		担当教員		
		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		

授業科目	学科総1	合学習			担当教員	佐々木 博幸				
対象年次・学期	1年・道	通年		必任	修・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的		学内・学外イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど学科の通常授業外に関わること全般を学習する。								
到達目標	学校生活全般に関わる内容を理解し、身につけることを目標とする。									
テキスト・ 参考図書等										
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	1=: 111	- TT 10 (T =)					
計圖基準	担出物	١	0	授業′	への取り組み姿	勢で評価します。				
	たの他		100							
履修上の 留意事項										
	回		履修主題			履修[内容			
履修主題・ 履修内容	1		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業で補えない事項を実施する					
	2		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業	ぎで補えない事項を	主実施する			
	3		イベント・就職 せた様々な取り組							
	4	合わt 実施	イベント・就職 せた様々な取り組	みを	他の定例授業	ぎで補えない事項を	を実施する			
	5		イベント・就職 せた様々な取り組							
	6		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業	ぎで補えない事項を	生実施する			
	7		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業	ぎで補えない事項を	を実施する			
	8		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業	ぎで補えない事項を	主実施する			
	9	合わt 実施	イベント・就職 せた様々な取り組	しみを	他の定例授業	ぎで補えない事項を	主実施する			
	10	合わt 実施	イベント・就職 せた様々な取り組	しみを	他の定例授業	ぎで補えない事項を	を実施する			
	11	合わt 実施	イベント・就職 せた様々な取り組	みを	他の定例授業	ぎで補えない事項を	主実施する			
	12		イベント・就職 せた様々な取り組		他の定例授業	で補えない事項を	主実施する			

	1位米 ノベン・1 生物なに	
13	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
14	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
15	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
16	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
17	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
18	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
19	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
20	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
21	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
22	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
23	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
24	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
25	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
26	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
27	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
28	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
29	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
30	授業・イベント・就職等に 合わせた様々な取り組みを 実施	他の定例授業で補えない事項を実施する

授業科目	学科総合学習	担当教員	佐々木博	幸	
		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
					l .

授業科目	プログラ	ラミング	ブ応用		担当教員	佐々木 博幸	佐々木 博幸			
対象年次・学期	1年・後	 単期		必但	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	45 回	時間数			
授業目的	オープンす。	オープンソースのフレームワークを用いてアプリケーションの工期を短縮する方法を学習します。								
到達目標	フレーム	フレームワークを用いた高品位な Web アプリケーションの構築が短期間で行えること。								
テキスト・ 参考図書等	Spring I	Spring Framework 超入門 ~やさしくわかる Web アプリ開発~ 改定新版								
	評価方	方法	評価割合(%)			評価基	準			
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポート		0	+ □ . l . 4.		≀≀∿∪⊐.`∕æ≑h⊸≈∸ï	:/ = + >			
計圖基準	小テスト 提出物		60	提出物	刎・授業中の助	(り組み姿勢で評	価する。			
	その他		40							
履修上の	_	丘い形で	で Web アプリケ	ーショ	ンを構築します	ーーーーー す。ソース、デ-		 発種設定ファイル		
留意事項		事に各自	ョでバックアッ フ	を必ず	「作成してくだ 「	-				
履修主題・	回	Caria	履修主題 - 門系のセット -	7.31		履修	多内容			
履修内容	1	プ	g 開発のセットス		SpringFramework の概要					
	2	Spring プ	g 開発のセットフ	アツ	開発環境の構築					
	3	Spring プ	g 開発のセットス	アツ	簡易画面の作成					
	4	Spring プ	g 開発のセットフ	アツ	簡易画面の作成					
	5	概要	アプリケーション		MVC モデルについて					
	6	Web : 概要	アプリケーション	ソの	Thymeleaf を利用する					
	7	バイン	ノド&バリデーシ	/ョン	バインドとバリデーション					
	8	画面し	ノイアウト		画面レイアウトの実装					
	9	データ	アベースアクセス	ζ	MyBatis の利用					
	10	アプリ	リケーションの作	成	Spring Framework によるアプリケーションの開発					
	11	アプリ	リケーションの作	成	Spring Fram	ework によるア	プリケーション	ンの開発		
	12	アプリ	リケーションの作	成	Spring Fram	ework によるア	プリケーション	ンの開発		
	13	アプリ	リケーションの作	成	Spring Fram	ework によるア	プリケーション	ンの開発		
	14	アプリ	リケーションの作	成	Spring Fram	ework によるア	プリケーション	ンの開発		
	15		リケーションの作		Spring Fram	ework によるア	プリケーション	ンの開発		
	16	ョンの			チームによる	らアプリケーショ	ンの開発			
	17	チームョンの	ムによるアプリク)開発	ーシ	チームによる	らアプリケーショ	ンの開発			
	18	チー <i>L</i> ョンの	∆によるアプリク)開発		チームによる	らアプリケーショ	ンの開発			
	19	チームョンの	∆によるアプリク)開発	ーシ	チームによる	らアプリケーショ	ンの開発			
	20	チーム	ムによるアプリク)開発	ーシ	チームによる	らアプリケーショ	ンの開発			

	,	
21	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
22	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
23	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
24	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
25	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
26	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
27	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
28	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
29	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
30	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
31	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
32	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
33	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
34	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
35	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
36	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
37	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
38	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
39	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
40	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
41	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
42	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
43	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
44	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発
45	チームによるアプリケーシ ョンの開発	チームによるアプリケーションの開発

授業科目	プログラミング応用	担当教員	佐々木博	幸	
		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

								1		
授業科目	Web 基	:礎			担当教員	三上 玲奈				
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数	23 回	時間数			
授業目的	Visual	Visual Studio Code を使用して web 作成に必要な HTML・CSS の知識を身に付けます。								
到達目標	簡単な静的 Web ページを作れるようになる									
テキスト・ 参考図書等	1 冊ですべて身につく HTML&CSS と Web デザイン 入門講座									
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		60							
評価方法・	レポー	٢	0							
評価基準	小テス	<u> </u>	0	評価記	式験と課題提出	l・授業への取り組	む姿勢で評	価します。		
	提出物		20							
 履修上の 留意事項	その他 web 開	発におり	20 ハて HTML/CSS	' SS は基礎なので、しっかり学習し身に付けて下さい						
履修主題・					履修内容					
履修工超	1	環境標			環境構築					
	2		<u></u> ∟ 作成の基礎		タグを理解する					
	3		 L 作成の基礎		画像表示					
	4	нтмі	└作成の基礎		リンクの作成					
	5	нтмі	 ∟作成の基礎		CSS で見た目を制御する					
	6	нтмі	 L 作成の基礎		CSS で見た目を制御する					
	7	нтмі	 L 作成の基礎		表の作成					
	8	нтмі			DIV タグ・span タグを使いこなす					
	9	нтмі	上作成の基礎		レイアウトによる HP の作成					
	10	нтмі	└作成の基礎		問い合せフォ	ームを作る				
	11	нтмі	上作成の基礎		web ページの	の作成				
	12	нтмі			web ページの	 D作成				
	13	нтмі	上作成の応用		自作ページの作成					
	14	総復習	習を兼ねた制作		自作ページの)作成				
	15	総復習	習を兼ねた制作		テスト対策					
	16	нтмі	上作成の基礎		表の作成					
	17	нтмі			DIV タグ・sp	pan タグを使いこ	なす			
	18	нтмі	上作成の基礎		レイアウトに	よる HP の作成				
	19	нтмі	 L 作成の基礎		問い合せフォ	r −ムを作る				
	20	нтмі	 L 作成の基礎		web ページの作成					
	21	нтмі	 L 作成の応用		web ページの作成					
	22	нтмі	 L 作成の応用		自作ページの					
	23	総復習	量を兼ねた制作		自作ページの					
		20 moly a Cartagorian								

授業科目	Web 基礎	担当教員	三上玲奈		
		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	Web 基	礎			担当教員	三上 玲奈			
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数	23 回	時間数		
授業目的			成は SE や PG に を学習します。	とって	「必須のスキル	です。動きのある	ページを作品	成する上で必要	
到達目標	JavaSc	ript を係	更った Web ペー?	ジが作ん	成出来るように	こなること			
テキスト・ 参考図書等	スラス	ラわかる	3 JavaScript						
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		60						
評価方法・	レポー	٢	0						
評価基準	小テス	<u> </u>	0	評価記	式験と課題提出	・授業中の取り組	み姿勢で評	価する。	
	提出物		20	<u>-</u>					
 履修上の	その他	キス \^/	20	で用い	Ct Z lovoSo	ript は、プログラ.	ル言語の一つ	つです しっか	
留意事項			のペーシのTF放 こつけてください		5110 Javasc	прив. Эцуу.	ム言語の一。	Jeg. 05/15	
履修主題・			履修主題		履修内容				
履修内容	1	JavaS	Script 概論		JavaScript の基礎知識について				
	2	JavaS	Script 入門		変数				
	3	JavaS	Script 入門		練習問題				
	4	JavaS	Script 入門		配列				
	5	JavaS	Script 入門		練習問題				
	6	JavaS	Script 入門		条件文・繰り返し処理				
	7	JavaS	Script 入門		練習問題				
	8	JavaS	Script 入門		関数				
	9	JavaS	Script 入門		練習問題				
	10	JavaS	Script 入門		変数・配列・	条件文・関数の総	給合練習問題		
	11	JavaS	Script 入門		オブジェクト				
	12	JavaS	Script 入門		標準オブジェ	クト			
	13	JavaS	Script 入門		練習問題				
	14	JavaS	Script 入門		ブラウザオフ	ブジェクト			
	15	JavaS	Script 入門		DOM				
	16	JavaS	Script 入門		練習問題				
	17	JavaS	Script 入門		総合練習問題	1			
	18	JavaS	Script 入門		模擬アプリ制				
	19	JavaS	Script 入門		模擬アプリ制	<u></u>			
	20) JavaScript 入門			模擬アプリ制作				
	21	JavaS	Script 入門		模擬アプリ制	·····································			
	22	JavaS	Script 入門		模擬アプリ制作				
	23	JavaS	Script 入門		テスト前対策				

授業科目	Web 基礎	担当教員	三上玲奈		
		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	インフ	ラ技術			担当教員	佐々木 博幸				
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的		データベース、ネットワークの根幹の技術である LinuxOS の利活用の学習とクラウドシステムの用語理解とネットワーク・データベーススキルの学習。								
到達目標	Linux I	Linux コマンドによる基本操作技術およびネットワーク、データベースの基礎を理解する								
テキスト・ 参考図書等	Linux 村	Linux コマンドプック ビギナーズ 第 5 版 Linux 標準教科書 Ver4.0.0 オープンソースデータベース教科書 Ver3.0.0								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50							
評価方法・	レポー	١-		其木F	R 色 レコマンド	の理解度と、授業	美理頭の担出!	内容が其木フキ		
評価基準	小テス				品とコマント 満たしているか		・休逸の提出	ハ谷がをやろす		
	提出物		30							
 履修上の	その他		20							
留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	インフ	フラの概要		社会で使われている ICT インフラについて					
	2	Linux	OS の利用方法		ログインとコマンド					
	3	Linux	OS の利用方法		ログインとコマンド					
	4	Linux	OS の利用方法		ファイルの操作					
	5	クラウ	ウドシステム概要	5	AWS academy の利用方法					
	6	クラウ	ウド基礎		AWS のインフラストラクチャーと Linux システム					
	7	クラウ	ウド基礎 ニニーニー		AWS のインフラストラクチャーと Linux システム					
	8	クラウ	ウド基礎 ニニーニー		AWS のインフラストラクチャーと Linux システム					
	9	クラウ)ド基礎		AWS のインフラストラクチャーと Linux システム					
	10	クラウ)ド基礎		AWS のインフラストラクチャーと Linux システム					
	11	ネット	- ワーク基礎		IP ネットワ-	-ク基礎				
	12	ネット	トワーク基礎		IP ネットワ-	-ク基礎				
	13	ネット	トワーク基礎		IP ネットワー	- ク基礎				
	14	ネット	トワーク基礎		IP ネットワー	- ク基礎				
	15	ネット	トワーク基礎		IP ネットワー	- ク基礎				
	16		- ワーク基礎	10.	IP ネットワー	- ク基礎				
	17	基礎	タベース(RDBM		データベース	(の基礎と用語				
	18	データ 基礎	タベース(RDBM	MS)	データベースの操作					
	19	データ 基礎	タベース(RDBM		データベースの操作					
	20	基礎	タベース(RDBM		データベースの操作					
	21		タベース(RDBM	MS)	データベース					
	22	データ	タベース(RDBM	1S)	データベース	への操作				

	基礎	
23	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
24	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
25	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
26	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
27	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
28	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
29	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ
30	セキュリティ基礎	Web システムの基礎とセキュリティ

授業科目	インフラ技術	担当教員	佐々木博	<u></u>	
1文米17口	1 2 2 3 3 KMI	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	ゼミ演	73 E			担当教員	佐々木 博幸			
対象年次・学期	1年・復			必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	Node.js	s とチー	- ム開発のための	知識習	得とチーム開発	発の実践を行う			
到達目標	Node.js	s の基礎	き、設計技法およ	び Git	を使った開発될	実践を行う			
テキスト・ 参考図書等	実践 No	実践 Node.js 入門(基礎・開発・運用)							
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・ 評価基準	レポー		0	48.11.4	- 15W - 17		r		
計圖基準	小テス 提出物	<u> </u>	0	提出物	ツ・授業中の取	り組み姿勢で評価	1する。		
	た山初		60 40						
 履修上の					 ンを構築します	ナ。ソース、デー ^ク		・ ・種設定ファイル	
留意事項					ンを構築します。ソース、データベース、各種設定ファイル 『作成してください。 -				
履修主題・	回	0:. 1=	履修主題	15.44	履修内容				
履修内容	1	Git に 理	よるソースコー	ド官	Git の概念と基礎の学習				
	2	Git に 理	よるソースコー	ド管	Git の概念と基礎の学習				
	3	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	4	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	5	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	6	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	7	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	8	ド開発			Node.js によるバックエンド開発				
	9	Node ド開発	.js によるバック ≹	エン	Node.js によるバックエンド開発				
	10	シスラ	- ム開発の設計技	法	外部設計・内部設計・テスト設計書の作成と演習				
	11	シスラ	- ム開発の設計技	法	外部設計・内	部設計・テスト記	段計書の作成	と演習	
	12	シスラ	- ム開発の設計技	法	外部設計・内	部設計・テスト記	段計書の作成	と演習	
	13	シスラ	- ム開発の設計技	法	外部設計・内	部設計・テスト語	段計書の作成	と演習	
	14	シスラ	- ム開発の設計技	法	外部設計・内	部設計・テスト語	段計書の作成	と演習	
	15		- ム開発の設計技		外部設計・内	部設計・テスト記	段計書の作成	と演習	
	16		ムによるアプリケ D開発	ーシ	チームによるアプリケーションの開発				
	17	チー/ョンの	aによるアプリケ D開発		チームによるアプリケーションの開発				
	18	ョンの	ムによるアプリケ D開発		チームによるアプリケーションの開発				
	19		aによるアプリケ D開発	ーシ	チームによる	アプリケーション	の開発		

20	トームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
21	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
22	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
23	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
24	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
25	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
26	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
27	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
28	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
29	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
30	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
31	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
32	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
33	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
34	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
35	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
36	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
37	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
38	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
39	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
40	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
41	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
42	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
43	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
44	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
45	チームによるアプリケーションの開発	チームによるアプリケーションの開発
	10000	

授業科目	ゼミ演習	担当教員	佐々木博	È	
12×111		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

	1							,	
授業科目	コンピ	ュータ!	リテラシ ー		担当教員	佐々木 博幸			
対象年次・学期	2 年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的		国家試験(基本情報技術者試験)の合格に向けた、科目 A 試験の講義と問題演習をすることが目 的です。							
到達目標	国家試息	験(基z	本情報技術者試験	i)の台	合格				
テキスト・ 参考図書等	科目 A テキストセット(ウィネット)								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・ 評価基準	レポー	•	0			内で行う模擬試験			
正	サイス 提出物		30 40			が取り組む問題演習 組み姿勢で評価す			
	その他		30						
履修上の 留意事項									
履修主題・	回		履修主題			履修风	内容		
履修内容	1	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	2	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	3	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	4	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	5	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	6	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	7	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	8	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	9	試験文	 対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	10	試験文	 対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	11	試験文	対策		対策	《試験(基本情報技 ————————————————————————————————————			
	12	試験文	対策		対策	《試験(基本情報 技			
	13	試験文	対策		対策	R試験(基本情報技			
	14	試験文	対策		対策	R試験(基本情報打			
	15	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	16	試験文	寸策 ————————————————————————————————————		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				
	17	試験文	寸策		対策	R試験(基本情報技			
	18	試験文	対策		授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策				

19	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
20	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
21	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
22	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
23	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
24	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
25	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
26	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
27	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
28	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
29	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策
30	試験対策	授業内容国家試験(基本情報技術者試験等)の科目 A 試験 対策

投業科目 コンピュータリテラシー 教書 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大						
実務於 対象年次・学期 2年・前期 担当員 実務験 担当員 実務 経験 担当員 実務 経験 担当員 実務 経験	授業科日	コンピュータリテラシー	担当教員	佐々木博	E	
2	1X*11 L	1) (1)	実務 経験	有:	無:	
接験 担当員 実務 提験 担当員 実務 提験 担当員 実務 提験 担当員 実務 提換 担当員 実務 提換 担当員 実務 提換 担当員 実務 提換 担当員 実務 提到員 実務 提出 更新 更新 上面 更加 上面 上面 更加 上面 上面 上面 上面 上面 上面 上面 上	対象年次・学期	2年・前期				
教員 実務験 担教 実経 過員 実経験 当員 実経験 当員 実務験	授業形態		実務 経験			
経験 担教 実際験 担教 実際 地名美国			担当 教員			
教員 実務						
経験 担教 実験 担教 実経 担教 実務			担当 教員			
教員 実務 担教 実務 担当員 実務 担当員 実務 担当員 実務						
経験 担当教 実務 担当教 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実経験 担対員 実経験 担対員 実経験 担対員 実経験						
教員 実務 担当員 実務 担教 実務 担力 教験 担教 実務 担力 教験 担力 教験 担力 教験 担力 表						
経験 担對 実務 担對 実務 担当 実務 担当 実務 担当 実務 担当 実務						
教員 実務 担当 教養 担当 支務						
経験 担当 教 実務 担当 教 実務験 担当 教 実務験 担当 教 実務験						
教員 実務 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務 上当 教員 実務						
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員			担当教員			
教員 実務 経験 担当 教員 上当 教員 実務 経験			実務 経験			
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務			担当教員			
教員 実務 経験 担当 教員 実務			実務経験			
経験 担当 教員 実務			担当教員			
教員			実務経験			
実務			担当教員			
経験			実務 経験			

授業科目	プログ	==://	が甘雄		担当教員	三上 玲奈			
1支来作口	747	J = J '.	/ 圣诞		223000				
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	近代オを学習			流とな	こっている Java	a の特徴と文法、:	コンピュータ	/上での実行方法	
到達目標	Java の	基本的	な文法と、オブシ	ジェク	ト指向言語の基	本となるクラスに	こついて理解	する	
テキスト・ 参考図書等	新わか	りやすい	↑Java 入門編 st	第3版					
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		40						
評価方法・ 評価基準	レポー		0	±₩/≖±	十年今 レ +日 ニュュル ケー	哲学中の即2227-	· (欠表) → * = * * * * * * * * * * * * * * * * *	 7	
計順季 年	小テス 提出物		20 30	計1四記	式験と提出物・	授業中の取り組み	・安勢で評価	9 රිං	
	その他		10						
履修上の 留意事項	現在も								
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	プログ	ブラムの作成手順	Į	環境設定とフ	プログラム実行方法	よの確認		
	2	プログ	ブラムの構造		プログラムの書き方、出力方法				
	3	データ	タ型		リテラル、データ型と変数				
	4	変数国	宣言と変数の使い	方	変数の使い方、識別子の作り方				
	5	自動型	型変数		型と変数の代入				
	6	特殊な			2 進数、8 進数、16 進数、Unicode、エスケープ文字				
	7	演算	子と演算		基本的な演算子、インクリメント、デクリメント、キャス ト演算子				
	8	クラス	スメソッド		Math クラスとクラスメソッド				
	9		Dクラスの利用 PUT)		Input クラスの使い方				
	10		可のインスタンス	メソ	String 型とインスタンスメソッド				
	11		 寸出力		書式文字列と	:は			
	12	配列			配列の作成と	:、配列要素へのフ	アクセス		
	13	レコ-	- F		record のプロ	コグラム			
	14	リスト	-		簡単なリスト	の作成と操作			
	15	可変!	Jスト		可変リストの)作成と操作			
	16	メソッ	ッドの基本		引数と値を返	をすメソッド			
	17	メソッドの引数と戻り値			配列を引数に	する、可変長引数	文		
	18	18 条件を作成する演算子			関係演算子、	論理演算子、条件	‡演算子		
	19	19 if 文			if-else if 文				
	20	switc	h 文と switch 式		switch 文と:	switch 式			
	21	for 文			繰り返しの回数を指定する for 文				
	22	while	文		while 文				

23	break と continue	繰り返しを中止、スキップする制御文
24	例外	例外処理の基本
25	列挙型	列挙型の機能
26	日付と時刻	日付と時刻の表示と計算
27	ファイル入出力	外部ファイルの読み取りと出力
28	オブジェクトの作成	オブジェクトモデリングとインスタンスの作成
29	オブジェクトの仕組み	カプセル化(コンストラクタ、クラスメンバー)
30	オブジェクトの仕組み	カプセル化(コンストラクタ、クラスメンバー)
31	オブジェクトの仕組み	イミュータブルなオブジェクトと内部クラス
32	継承	クラスの継承とアップキャスト、ダウンキャスト
33	継承	クラスの継承とアップキャスト、ダウンキャスト
34	継承	クラスの継承とアップキャスト、ダウンキャスト
35	課題演習	Java の基礎課題演習
36	課題演習	Java の基礎課題演習
37	課題演習	Java の基礎課題演習
38	課題演習	Java の基礎課題演習

授業科目	プログラミング基礎	担当教員	三上玲奈		
1XX17 L	ノロノントンノを促	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	プログラミング基礎				担当教員	三上 玲奈				
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	Java に	よるW	eb システムの基							
到達目標	JSP/Servlet による Web システムの基礎理解を深める									
テキスト・ 参考図書等	新わかりやすい Java 入門編 第3版、サーブレット&JSP 入門 第4版									
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		40							
評価方法・	レポー		0							
評価基準	小テス	-	40	授業「	中の小テストと	提出物・授業中の	取り組み姿	勢で評価する。		
	提出物		40							
 履修上の	ての他		20							
留意事項										
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	抽象な	フラスと多態性		抽象クラスによる継承					
	2	抽象な	フラスと多態性		多態性(ポリモーフィズム)					
	3	抽象な	フラスと多態性		継承に関するその他の文法					
	4	インタ	タフェース		インタフェースとは					
	5	インタ	タフェース		インタフェースの応用					
	6	ラムタ	 ヺ式		ラムダ式とは					
	7	ラムタ	ブ 式		ラムダ式の文法					
	8	コレクク	7ションフレー <i>ム</i>	ワー	インタフェースと実装クラスの概要					
	9		フションフレーム	ワー	List、Set、Map					
	10	スト!	リーム処理		いろいろな中間操作					
	11	正規表	 長現		基本的な正規表現					
	12	マルき	Fスレッド		マルチスレッドとは					
	13	基本ス	スキル演習		Java による?	プログラミング演習	国 当			
	14	基本ス	スキル演習		Java によるこ	プログラミング演習	필 필			
	15	基本ス	スキル演習		Java によるこ	プログラミング演習	国 国			
	16	Web: 動作	アプリケーション	ノの	Tomcat によ	る環境設定				
	17 サーブレットの基本				サーブレット	- の動作を確認する	5			
	18	JSP 0			JSPによるV	Veb ページの動的	生成を理解す	する		
	19	フォ-		1	フォームを使った入力処理プログラム					
	20	フォ-	- ムを使った処理	!	フォームを傾]グラム			
	21	フォ-	-ムリクエストの	処理	フォームリク		<u></u> た理解する			
	22	フォ-	-ムリクエストの	処理	フォームリク		<u></u> 法を理解する			

23	フォームリクエストの処理	フォームリクエストの処理方法を理解する
24	MVC モデルによる処理の 遷移	MVC による機能の分離を理解する
25	MVC モデルによる処理の 遷移	MVC による機能の分離を理解する
26	Web システムの変数スコ ープ	リクエストスコープ、セッションスコープ、アプリケーシ ョンスコープを理解する
27	Web システムの変数スコ ープ	リクエストスコープ、セッションスコープ、アプリケーシ ョンスコープを理解する
28	Web システムの変数スコ ープ	リクエストスコープ、セッションスコープ、アプリケーシ ョンスコープを理解する
29	Web システムの変数スコ ープ	リクエストスコープ、セッションスコープ、アプリケーシ ョンスコープを理解する
30	フィルターの活用	サーブレットクラスの実行とフィルター
31	アクションタグと EL 式	
32	JDBC と DAO パターン	データベースの利用
33	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習
34	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習
35	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習
36	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習
37	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習
38	JSP/Servlet によるシステ ム開発演習	学習内容を活用した Web システム作成演習

授業科目	プログラミング基礎	担当教員	三上玲奈		
1XX17 L	ノロノントンノを促	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	IoT 基礎			:	担当教員	福田和宏				
対象年次・学期	1年・復	1 年・後期 必何			・選択区分	必修	単位数			
授業形態				:	授業回数		時間数			
授業目的	回路やマイコンなどを利用し IoT の基本を学ぶ									
到達目標	電子回路の基本と、マイコンでの基本的な電子パーツをプログラムで制御ができること									
テキスト・ 参考図書等	最新 Pico W 対応!ラズパイ Pico 完全ガイド 日経 BP									
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポー		0							
評価基準	小テス	٢	20							
	提出物		70 10							
履修上の 留意事項	20718		10							
			履修主題		履修内容					
履修内容	1	イント	 - □ loT 概要		IoT の概要を説明する。					
	2	電子部 回路の	『とは、扱い方、』 ○作成	電子	電子部品の概要を説明する。また、配線について理解する					
'	3	電子部	『品を動かす		電池を利用して LED やモーター、ボリューム、スイッチ などを使って動かしてみる					
'	4	電子回	回路読解			電子回路から回路で	を作成する。	逆に接続図から		
'	5	電子回	回路読解		提示された電子回路から回路を作成する。逆に接続図から 電子回路を描く					
	6	数学基	基礎		数式計算、比、一次方程式、連立方程式等の解き方の確認					
	7	電子回	回路基礎		電圧、電流、抵抗、キルヒホッフ、オームの法則など電子 回路の基礎を学ぶ					
	8	電子回	回路基礎		電圧、電流、抵抗、キルヒホッフ、オームの法則など電子 回路の基礎を学ぶ					
	9	開発環 基礎	環境準備、Python	0	Python の開発環境を準備する。Python の基礎を説明する					
	10	Pytho	n の基礎と演習		Python でのプログラミンの基本を学び、実際にプログラムを製作する					
	11	Pytho	n の基礎と演習		Python でのプログラミンの基本を学び、実際にプログラムを製作する					
	12	Pytho	n の基礎と演習		ムを製作する					
	13	Pytho	n の基礎と演習		ムを製作する					
	14	Pytho	n の基礎と演習		Python での ムを製作する	プログラミンの基 。	本を学び、乳	€際にプログラ 		
	15	Raspberry Pi Pico でのプログラム実行			Raspberry Pi Pico にプログラムを転送方法やライブラリの利用方法を説明する					
	16		の制御			基本、デジタル出	力について学	<u>-</u> 75°,		
	17		ノジスタを利用した の制御	た	大電流、高電 を利用する方	置圧で電子部品を i法	訓御するため	にトランジスタ		
	18		チの入力			本、デジタル入	力について学	ızî		
	19	電子/	パーツを組み合わっ	せる	LED とスイッ	ッチを組み合わせ	<u></u> る			

20	DC モーターの制御	H ブリッジ回路について説明し、モータードライバーを利用してモーターを動かす
21	PWM 出力	PWM 出力の原理についての説明する
22	サーボモーターの制御	サーボモーターの制御方法を学ぶ
23	ボリュームの状態を読み取 る	ボリュームの基本、アナログ入力について学ぶ
24	温度センサー	アナログ出力の温度センサーを利用して温度を計測する方 法を学ぶ
25	作品を作るには	思い描いたアイデアをどのようにして実現するかの手順を 説明する
26	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Pico を利用して実現する
27	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Pico を利用して実現する
28	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Pico を利用して実現する
29	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Pico を利用して実現する
30	総合課題演習	課題を出題し、Raspberry Pi Pico を利用して実現する

授業科目	IoT 基礎	担当教員	福田	和宏	
1又来11口	101 圣嵷	実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	コンピ	ュータ!	リテラシー		担当教員	佐々木 博幸				
対象年次・学期	1年・前期 必何				き・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	基本情報技術者試験のテクノロジー分野の学習									
到達目標	基本情報	基本情報技術者試験のテクノロジー分野の理解								
テキスト・ 参考図書等	コンピ	コンピュータ概論(ウィネット)								
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50	±177 7-77	*E^ ! :	**************************************	۲±	a. Mash — tarias is		
評価方法・ 評価基準	レポー		0	評価i る。	試験と小テス ┣	~・課題提出・授業	€中の取り組	み姿勢で評価す		
計画基準	小テス 提出物	<u> </u>	20	1		遠終了後に実施する				
	た山初		10 20	2	小ナストは指	受業内で、不定期に	- 仃つテスト	を指しより		
履修上の 留意事項										
	回		履修主題		履修内容					
履修主題・ 履修内容	1		〜ロダクション 章 コンピュータ □識	7 -の	コンピュータとは コンピュータの基礎知識					
	2	第2章	i コンピュータ i	の数	第 1 節 コンピュータ内部の情報表現					
	3	第2章	〕 コンピュータ	の数	第2節 基数变換					
	4	第2章	見	の数	第3節 補数					
	5	第2章		の数	第 4 節 数値表現					
	6	第3章	き ハードウェア	7	第1節 プロ	コセッサ				
	7	第3章	〕 ハードウェア	7	第2節論	浬演算と論理回路				
	8	第3章	き ハードウェア	7	第3節 記憶装置					
	9	第3章	う ハードウェア	7	第4節 入出力インタフェース					
	10		ラ ハードウェア		第5節 入	出力装置				
	11	第4章	う システムの椿	成要	第1節 シ	ステムの評価指標				
	12		章 システムの椿	成要	第1節 シ	ステムの評価指標				
	13	第4章	章 システムの植	成要	第2節シ	ステムの構成				
	14		う システムの植	 就要	第3節 高	言頼化技術				
	15		ションフトウェア	7	第1節 ソ	フトウェアの分類。	Ŀ os			
	16	第6章	ラ マルチメディ	ア	第1節 マ	ルチメディア				
	17	第7章	章 AI(人工知能	()	第1節 Al	(人工知能)				
	18	第7章	章 AI(人工知能	()	第2節 機	戒学習				
	19		章 AI(人工知能		第3節 デ	ィープラーニング		_		
	20	第8章 ータ権	ラ アルゴリズム ^第 造	とデ	データ構造					

21	第8章 アルゴリズムとデ ータ構造	第2節 アルゴリズム
22	演習	実践問題演習
23	演習	実践問題演習
24	演習	実践問題演習
25	演習	実践問題演習
26	演習	実践問題演習
27	演習	実践問題演習
28	演習	実践問題演習
29	演習	実践問題演習
30	演習	実践問題演習

授業科目	コンピュータリテラシー	担当教員	佐々木博	‡	
JANTH		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1 年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	コンピニ	ュータリ	リテラシー		担当教員	佐々木 博幸				
 対象年次・学期	1年・前期 必修			 多・選択区分	必修	単位数				
	1 1 - 1 - 1 - 1 - 1					20115				
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的		基本情報技術者試験のシステム開発技術分野(データベース・ネットワーク・情報セキュリティ)の学習								
到達目標		基本情報技術者試験のシステム開発技術分野(データベース・ネットワーク・情報セキュリティ)の理解								
テキスト・ 参考図書等	システム	は開発と	:情報技術(ウィ	ネット	-)					
	評価方	法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50							
評価方法・	レポート		0	評価 ≒	お験と小テフト	·、課題提出・授業	食中の取り細	み姿勢で証価す		
評価基準	小テスト	,	20	ず 臓の	以何久 こ 小 ノ 入 1	、	ミナリカス・ノ だれ	の安労で計画す		
	提出物		10							
 履修上の	드어맨		20							
留意事項										
履修主題・	回		履修主題			履修[内容			
履修内容	1	第1章	〕 データベース		第 1 節 データのモデル化 第 2 節 データベース設計					
	2	第1章	」 データベース	,	第3節 データの正規化					
	3	第1章	〕 データベース	,	第4節 SQLの基本					
	4	第1章	き データベース		第 5 節 SQL の応用					
	5	第1章	〕 データベース		第6節 データベースの演算					
	6	第1章	章 データベース		第 7 節 データベース管理システム データベース応用					
	7	第1章	ラ データベース		問題演習(ラ	データベース)				
	8	第1章	〕 データベース		問題演習(ラ	データベース)				
	9	第2章	ラ ネットワーク		第1節 ネッ	ットワーク方式				
	10	第2章	章 ネットワーク		第2節 OSI 基本参照モデル					
	11	第2章	き ネットワーク		第 3 節 TCP/IP プロトコル 第 4 節 IP アドレス					
	12	第2章	き ネットワーク			ットワーク管理				
	13	第2章	章 ネットワーク			P/IP アプリケーシ ットワーク応用技術				
	14	第2章	き ネットワーク			マットワーク)				
	15	第2章	き ネットワーク		問題演習(オ	ベットワーク)				
	16	第3章	章 情報セキュリ	ティ	第1節 情報	股セキュリティ				
	17	第3章	賃 情報セキュリ	ティ	第2節 シス	ステムへの攻撃手派	<u></u>			
	18	第3章	賃 情報セキュリ	ティ	第2節 シス	ステムへの攻撃手流	去			
	19	第3章	賃 情報セキュリ	ティ	第3節 暗	号化技術				
	20	第3章	賃 情報セキュリ	ティ	第4節 認証	正技術				
	21	第3章	章 情報セキュリ	ティ	第5節 セ=	ドュリティ技術				
	22	第3章	章 情報セキュリ	ティ	第5節 セ	ドュリティ技術				

23	第3章 情報セキュリティ	第6節 セキュリティリスク
24	第3章 情報セキュリティ	第 7 節 セキュリティ管理
25	第3章 情報セキュリティ	問題演習(情報セキュリティ)
26	第5章 システム開発技術	第 1 節 システム開発とは 第 2 節 システムの開発プロセス
27	第5章 システム開発技術	第3節 システム要件定義 第4節 システム設計
28	第5章 システム開発技術	第5節 ソフトウェア要件定義 第6節 ソフトウェア設計 第7節 ソフトウェア構築
29	第5章 システム開発技術	第8節 統合・テスト 第9節 導入・受入れ支援と保守 第10節 ソフトウェア開発技法
30	問題演習	4 分野(データベース・ネットワーク・情報セキュリティ・システム開発)問題演習

授業科目	コンピュータリテラシー	担当教員	佐々木博	‡	
JANTH		実務 経験	有:	無:	
対象年次・学期	1 年・前期	担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	コンピ	ュータリ	J テラシー		担当教員	佐々木 博幸				
対象年次・学期	1年・後期 必順			多・選択区分	必修	単位数				
授業形態				授業回数		時間数				
授業目的		基本情報技術者試験のシステム開発技術分野(データベース・ネットワーク・情報セキュリティ)の学習								
到達目標	基本情報	基本情報技術者試験のマネジメントと情報化の理解								
テキスト・ 参考図書等	IT 戦略	IT 戦略とデータ利活用(ウィネット)								
	評価な	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50							
評価方法・	レポー		0	評価詞	式験、レポート	・と課題提出・授業	美中の取り糾	み姿勢で評価す		
評価基準	小テス		20	る。			and the second	HI IM /		
	提出物		10							
履修上の 留意事項	その他 20									
履修主題・	回				履修内容					
履修内容	1	第1章	章 企業と経営戦		第 1 節 企業活動					
	2	第1章	章 企業と経営戦	略	第2節 経営戦略手法					
	3	第1章	章 企業と経営戦	略	第3節 マーケティング					
	4	第1章	章 企業と経営戦	略	第4節 ビジネス戦略					
	5	第1章	章 企業と経営戦	略	第5節 技術開発戦略					
	6	第2章	章 システム戦略		第1節 企業におけるシステム戦略					
	7	第2章	章 システム戦略		第2節 情報システムの活用					
	8		章 システム戦略		第3節 システム企画					
	9	-	章 ビジネスイン (loT)	/ダス	第 1 節 ビジネスインダストリ					
	10	第3章	・ う ビジネスイン (loT)	/ダス	第2節 e-ビジネス					
	11	第3章	・ う ビジネスイン (loT)	/ ダス	第3節 組み込みシステム					
	12	第3章	・ う ビジネスイン (loT)	/ ダス	第4節 民生	機器・産業機器				
	13	第3章	・ 章 ビジネスイン (IoT)	/ダス 	第5節 AI利	 活用 				
	14		・ 章 マネジメント		第1節 プロ	ジェクトマネジメ	ント			
	15	第4章	章 マネジメント		第2節 サー	ビスマネジメント				
	16	第4章	章 マネジメント		第3節 サー	ビスマネジメント	システムの記	計画及び運用		
	17	第4章	章 マネジメント		第4節 シス	テム監査				
	18	第5章	章 業務分析・デ 用	ータ	第1節 応用	数学				
	19		章 業務分析・デ	ータ	第2節 OR·IE					
	20		章 業務分析・デ	ータ	第3節 デー	夕利活用				
	21	第6章	章 企業会計		第1節 企業	 会計				

22	第6章 企業会計	第2節 財務諸表
23	第7章 法務と標準化	第 1 節 知的財産権
24	第7章 法務と標準化	第2節 セキュリティ関連法規
25	第7章 法務と標準化	第3節 労働法
26	第7章 法務と標準化	第4節 その他の法規
27	第7章 法務と標準化	第5節 情報倫理
28	第7章 法務と標準化	第6節 標準化
29	問題演習	演習
30	問題演習	演習

授業科目	コンピュータリテラシー	担当教員	佐々木博琴	토	
1文朱代石	1001 79700	実務経験	有:	無:	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	英語リ·	ーディン	ノグ A		担当教員					
対象年次・学期	1年・前	前期		必任	修・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	文法、	文法、語彙の知識を活用しながら英語読解を学ぶ。								
到達目標	2. 多読	1. 理解力(英文を読み、その内容を正しく理解する力を養う) 2. 多読力(分量の多い英文を短時間で読み進める力を養う) 3. 語彙力(分量の多い英文を正しく理解するために求められる単語や熟語の意味用法を理解する)								
テキスト・ 参考図書等		「Reading pass 1 (Second Edition)」 Andrew E. Bennett 南雲堂 (ISBN:9784523177746)								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・ 評価基準	レポー		50	1. 精	1. 精読演習にて行う教科書に関する課題:50%					
計測基準	小テスト 提出物		50			の内容について理解度を測る小テスト:50%				
	をの他		0							
履修上の 留意事項	2378		<u> </u>							
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	ガイタ	ブンス		授業の進め方、評価方法について					
	2	精読簿	質習 教科書第25	章	2 Internet Communities					
	3	多読簿	質習 第1回		学生が任意に選ぶ本による演習第 1 回					
	4	精読簿	質習 教科書第45	章	4 Teleworking					
	5	多読簿	質 第2回		学生が任意に選ぶ本による演習第2回					
	6	精読簿	質習 教科書第65	章	6 E-books					
	7	多読漢	翼第3回		学生が任意に選ぶ本による演習第3回学生が任意に選ぶ本 による演習第3回					
	8	精読簿	質習 教科書第7	章	7 Multiculturalism					
	9	多読漢	質 第4回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第 4 回			
	10	精読簿	質習 教科書第85	章	8 Space Tou	rism				
	11	多読簿	質習 第5回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第 5 回			
	12	精読濱	質習 教科書第91	章	9 Cultural Ta	aboos				
	13	多読簿	質 第6回		学生が任意に選ぶ本による演習第6回					
	14	精読簿	質習 教科書第 10)章	14 Climate C	Change				
	15	多読簿	實別第7回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第7回			

授業科目	英語リーディング A	担当教員	
		経験	
対象年次・学期	1年・前期	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	茶练口。	語リーディング B			担当教員					
1支耒村日	英語り	-51,	УУБ		担当教具					
対象年次・学期				必任	後・選択区分		単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	文法、	文法、語彙の知識を活用しながら英語読解を学ぶ。								
到達目標	2. 多読	1. 理解力(英文を読み、その内容を正しく理解する力を養う) 2. 多読力(分量の多い英文を短時間で読み進める力を養う) 3. 語彙力(分量の多い英文を正しく理解するために求められる単語や熟語の意味用法を理解す る)								
テキスト・ 参考図書等	Readin	Reading pass 1 (Second Edition) Andrew E. Bennett 南雲堂(ISBN:9784523177746)								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		0							
評価方法・	レポート		50	1)精	読演習にて行 [・]	演習にて行う教科書に関する課題:50%				
評価基準	小テス	١	50	2) 多読書を読んでその内容について理解度を測る小 50%				る小テスト:		
	提出物	0	30 70							
	その他		0							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題			履修 [內容			
履修内容	1	ガイタ	ブンス		授業の進め方、評価方法について					
	2	多読簿	電子第1回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第1回			
	3	精読簿	質習 教科書第 11	章	11 The Burj Al Ara					
	4	多読簿	習 第2回		学生が任意に選ぶ本による演習第2回					
	5	精読簿	習 教科書第 13	3章	13 Shanghai					
	6	多読漢	翼第3回		学生が任意に選ぶ本による演習第3回					
	7	精読簿	翼習 教科書第 14	4 章	4 Climate Change					
	8	多読漢	翼第4回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第 4 回			
	9	精読簿	資習 教科書第 16	6章	16 Single-Ch	nild Families				
	10	多読簿	寶 第5回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第5回			
	11	精読簿	資習 教科書第 17	7 章	17 Identity T	heft				
	12	多読簿	電子第6回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第6回			
	13	精読簿	電習 教科書第 18	3 章	18 India on t	he Rise				
	14	多読簿	電子 第7回		学生が任意に	選ぶ本による演習	第7回			
	15	精読簿	質習 教科書第 19	9章	19 Trans Fat					

授業科目	英語リーディング B	担当教家	
対象年次・学期		担当	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員実務	
		経験	

授業科目	線形代	数 A			担当教員					
対象年次・学期	1年・後期			必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的		工学を学ぶ際の基本言語の一つである線形代数、特にその計算に関する側面を修得することを主 な目的とする。								
到達目標	2. 行列 3. 行列 4. 掃き	1. 行列の各種演算ができる。 2. 行列の基本変形を確実に行うことができる。 3. 行列の基本変形の応用として連立 1 次方程式の解を求めることができる。 4. 掃き出し法や余因子法を用いて逆行列を求めることができる。 5. 掃き出し法や余因子展開を用いて行列式の計算をすることができる。								
テキスト・ 参考図書等		978478	桂田、竹 0604672) 『」 斉藤正彦			著 学術図書出 (ISBN:978413062				
	評価な	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50							
評価方法・	レポー	٢	0	1. 評	価試験:50%					
評価基準	小テス	١-			中間試験:20%					
	提出物		0	3. 澳	習 : 30%					
	その他		30							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題			履修四	内容			
履修内容	1	ガイタ	ダンス		授業の進め方、評価方法について					
	2	授業第	第1週		行列用語の基礎知識、および和とスカラー倍					
	3	授業第	第2週		空間のベクトルとその基本操作					
	4	授業第	第3週		行列の積					
	5	授業第	第4週		逆行列 ~ 掃き出し法					
	6	授業第	第5週		連立一次方程	記1~唯一解				
	7	授業第	第6週		連立一次方程	員式 Ⅱ ~解の自由	1度			
	8	授業第	第7週		連立一次方程式 II ~行列の階数と解の自由度					
	9	授業第	第8週		中間試験					
	10	授業第	第9週		行列式の定義	i i				
	11	授業第 10 週			行列式の計算~余因子展開					
	12	授業第 11 週			行列式の計算~余因子展開 II					
	13	授業第 12 週			逆行列再説 ~ 余因子法					
	14	授業第	第13週		まとめ					
	15	授業第	第14週		試験準備					

授業科目	線形代数 A	担当教員	
		経験	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	線形代数	数 B			担当教員					
対象年次・学期	1 年・復			必何	多・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的		工学を学ぶ際の基本言語の一つである線形代数、特にその計算に関する側面を修得することを主 な目的とする。								
到達目標	ことが ⁻ 2. 線型 ること 3. 線形	1. 線型空間の議論、特に基底の概念をよく理解し、与えられた条件から部分空間の基底を求めることができる 2. 線型空間に基底が与えられているとき、線形写像を行列で表すことができ、また像や核を求めることができる 3. 線形変換の固有値・固有ベクトルを求めることができる 4. 行列の対角化ができる								
テキスト・ 参考図書等		代数 」 代数入門	桂田、竹ヶ 引」 斉藤正彦		長谷川、森田著 京大学出版 (IS	学術図書出版 BN:97841306200		4780604672)		
	評価ス	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		50							
評価方法・	レポー	٢	0	1. 評	価試験:50%					
評価基準					2. 中間試験: 20% 3. 演習: 30%					
	提出物 0 3. 演音 : 30%									
	その他		30							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題			履修 個	容			
履修内容	1	ガイタ	ブンス		授業の進め方、評価方法について					
	2	授業第	91週		行列用語の基礎知識、および和とスカラー倍					
	3	授業第	92週		空間のベクトルとその基本操作					
	4	授業第	93週		行列の積					
	5	授業第	94週		逆行列 ~ 掃き出し法					
	6	授業第	95週		連立一次方程式 ~ 唯一解					
	7	授業第	96週		連立一次方程	員式 Ⅱ ~解の自由	1度			
	8	授業第	97週		連立一次方程	呈式 Ⅱ ~行列の降	皆数と解の自	由度		
	9	授業第	98週		中間試験					
	10	授業第	--------- 9		行列式の定義	ŧ				
	11	授業第	9 10 週		行列式の計算					
	12				行列式の計算					
	13	授業第	9 12 週		逆行列再説					
	14	授業第	 9 13 週		まとめ					
	15	授業第	9 14 週		試験準備					
	10 以来为14 20 以歌牛佣									

授業科目	線形代数 B	担当教員	
		経験	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	微積分	A			担当教員				
対象年次・学期	1年・復	美期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	微分積分	工学を学ぶ際の数学の基礎知識の1つである微分積分学に関する内容を講義する。 微分積分Aでは初等関数の基本性質について理解し、1変数関数の極限・連続性・微分法を理解することを目的とする。							
到達目標	理解でき ・1 変 出来る。 ・1 変 Taylor /	・ べき関数、多項式、三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数などの基本的な関数の性質が 里解できる。また、それらの関数に関連した極限を求めることが出来る。 ・1 変数関数の連続性と微分の概念を理解し、関数に対して連続性と導関数の導出を行うことが							
テキスト・ 参考図書等	「明解	学術図書 微分プ	島出版社 2018 (ISBN:9)」 長	978478060644 長崎 憲一/中村	正和・黒木場正城 7) 正彰/横山 利章			
	評価ス	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		60						
評価方法・	レポー		0	1)缸	1)評価試験:60% 2) 中間試験:40%				
評価基準	小テス	١-	40						
	提出物		0						
屋 炮 上 の	その他		0						
履修上の 留意事項									
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	授業第	第1週		実数の性質と諸概念				
	2	授業第	第2週		関数の定義と性質				
	3	授業第	第3週		関数の極限				
	4	授業第	64週		連続関数の定義と性質				
	5	授業第	第5週		逆関数				
	6	授業第	96週		初等関数1(指数関数、対数関]数)		
	7	授業第	97週		初等関数2(三角関数、逆三角	自関数)		
	8	授業第	98週		1回から7回	の講義内容の復習	ピ中間試験		
	9	授業第	9 週		微分の定義と	:性質			
	10	授業第	第10週		初等関数の微	対分1(合成関数σ)微分)		
	11	授業第	第11 週		初等関数の微	対分2(逆関数の微	対分)		
	12	授業第	月12 週		高次導関数				
	13	授業第	月13 週		平均値の定理	とロピタルの定理	1		
	14	授業第	第14週		テイラー展開	とマクローリン展	開		
	15	授業第	15 週		1 変数関数の)極値			

授業科目	微積分 A	担当教家	
対象年次・学期	1年・後期	担当教員	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	微積分	В			担当教員				
対象年次・学期	1年・復	 後期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	工学を学ぶ際の数学の基礎知識の1つである微分積分学に関する内容を講義する。 微分積分Bでは1変数関数の積分法および多変数関数の極限・連続性・偏微分法を理解することを目的とする。								
到達目標	・1変数関数の2つの積分、定積分・不定積分の概念と性質を理解し、計算することが出来る。 ・置換積分法や部分積分法を用いて、与えられた関数に対して、定積分、不定積分を求めることが出来る。 ・広義積分の概念を理解し、与えられた広義積分の収束・発散を調べることが出来る。 ・多変数関数の極限や連続性について理解することが出来る。 ・偏微分・全微分の概念を理解し、計算と応用が出来る。 ・多変数関数の極値を求めることが出来る。						分を求めること		
テキスト・ 参考図書等	「明解	学術図書 微分プ	島出版社 2018(ISBN:9	978478060644 長崎 憲一/中村	正和・黒木場正城 7) 正彰/横山 利章			
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		60						
評価方法・ 評価基準	レポー		0	1)評)評価試験:60% 2) 中間試験:40%				
計画基準	小テス	١	40						
	提出物		0						
履修上の 留意事項	C 37 D		<u> </u>						
履修主題・	0		履修主題			履修内容			
履修内容	1	授業第	91週		1変数関数σ	D定積分の定義と性質			
	2	授業第	92週		1変数関数σ	の定積分の性質と存在性			
	3	授業第	93週		1変数関数σ	の不定積分の定義と微分積分学の基本定理			
	4	授業第	94週		1変数関数σ	の積分の計算1(置換積分法と部分積分法)			
	5	授業第	95週		1変数関数σ	数の積分の計算 2 (有理関数の積分)			
	6	授業第	96週		1変数関数σ)積分の計算3(有	再理関数の積	分への帰着)	
	7	授業第	97週		広義積分				
	8	授業第	98週		1回から7回]の講義内容の復習	ると中間試験		
	9	授業第	9 週		2 変数関数の)極限と連続性			
	10	授業第	9 10 週		偏導関数の定	義と性質			
	11	授業第	9 11 週		全微分の定義	と性質			
	12	授業第	9 12 週		連続・偏微分	・全微分の関係			
	13	授業第	9 13 週		合成微分と高	次導関数			
	14	授業第	9 14 週		Taylor 展開と	: Maclaurin 展開			
	15	授業第	9 15 週		極値問題				

授業科目 微		担当	
	故積分 B	教員実務	
		経験	
対象年次・学期 1	年・後期	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	英語コ:	ミュニケ	アーション A		担当教員		_		
対象年次・学期	1年・前	前期		必何	冬・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的						英語でのコミュニ 信が持てるように			
到達目標	2. 様々	な状況	ミュニケーション で英語を適切に(上での文化的能)	使用する	る実践的な経験	的な能力を確立で を得る。	する。		
テキスト・ 参考図書等	「First 工藤	steps t 多恵著	o office English センゲージラー	」 ·ニンク	້ 2011 (ISBN	I:9784863121805	5)		
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		50						
評価方法・	レポー		0	1 証	価試験:50%				
評価基準	小テス	١	0		間試験:50% mmunicative events, worksheets, と Speaking Test:50%				
	提出物		0						
屋修しの	その他		50						
履修上の 留意事項									
履修主題・	回		履修主題		履修内容				
履修内容	1	ガイタ	ブンス		Syllabus Introduction				
	2	演習	教科書第2章		Clarifying Meanings				
	3	演習	教科書第3章		Phone Conversation [1]				
	4	演習	教科書第4章		Phone Conversation [2]				
	5	演習	教科書第5章		Calling in Sick				
	6	演習	教科書第5章		Calling in Sick				
	7	演習	教科書第7章		Making Offe	rs			
	8	演習	教科書第8章		Invitation				
	9	演習	教科書第9章		Small Talk				
	10	演習	教科書第 10 章		Location				
	11	演習	教科書第 11 章		Directions				
	12	演習	教科書第 15 章		Eating out				
	13	復習			Speaking Te	st Review and Fi	nal Exam Re	view	
	14	試験準	≛備		Exam prepai	ation			
	15	710	-キングテスト		Speaking Te				

授業科目	英語コミュニケーション A	担当教家	
対象年次・学期	1年・前期	担当教員	
授業形態		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務 経験	

授業科目	TOEIC	英語対策	策 A		担当教員				
対象年次・学期	1年・復			必但	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的		でに学習した英語の知識を踏まえて、工学系学生に必要な資格認定試験(TOEIC)に必能力を習得することを目指す。						「OEIC)に必要	
到達目標	2. TOEI	IC の基	礎的なリスニン? 礎的なリーディン 礎語彙の習得を[ング能力	力の習得を目指	-			
テキスト・ 参考図書等	Yosh	izuka H	e for the TOEIC liroshi, Graham 1972531)			ediate - 」 nauerte 成美堂	2022		
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		60						
評価方法・	レポー	٢	0	1)缸	価試験・60%				
評価基準	小テス	١	0		平価試験:60% 受業内課題と小テスト:40%				
	提出物		0						
履修上の 留意事項	その他		40						
履修主題・	回		履修主題			履修區	内容		
履修内容	1	ガイタ	ブンス		授業の進め方	「、評価方法につい	17		
	2	演習	教科書第1章		Restaurants(人称代名詞)				
	3	演習	教科書第2章		Entertainment (不定代名詞と再帰代名詞)				
	4	演習	教科書第3章		Business (現在・過去の時制)				
	5	演習	教科書第4章		The Office (現在完了形)			
	6	演習	 教科書第 5 章		Telephone (時・期間を表す前	ī置詞)		
	7	演習			Letters & E-	mails(位置・場所	ーーー 所を表す前置	詞)	
	8	演習	教科書第7章		Health (数量	量形容詞)			
	9	演習	教科書第8章		The Bank &	The Post Office (自動詞と他	動詞)	
	10	演習	教科書第9章		New Produc	ts(形容詞を作る	接尾辞)		
	11	演習	 教科書第 10 章		Travel (副詞	を作る接尾辞)			
	12	演習	 教科書第 11 章		Daily Life (3				
	13	演習	 教科書第 12 章		Job Applicat	ions (比較)			
	14	演習	 教科書第 13 章		Shopping (§				
	15	演習	 教科書第 14 章		Education (関係代名詞)			

授業科目	TOEIC 英語対策 A	担当 教 実務 経験	
対象年次・学期	1年・後期	担当教員	
授業形態		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当 教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務 経験	

授業科目	TOEIC	英語対策	策 B		担当教員			
対象年次・学期	1年・後			必何	多・選択区分	必修	単位数	
授業形態					授業回数		時間数	
授業目的	TOEIC 実践としての TOEIC 英語対策 A に引き続いて、TOEIC 完成にふさわしい問題に取り組む。							題に取り組
到達目標	1. TOEIC 公開テスト受験に必要なリスニング能力の向上を目指す。 2. TOEIC 公開テスト受験に必要なリーディング能力の向上を目指す。							
テキスト・ 参考図書等	朝l 「TOEI	日出版社 C L&R	ーニングによる ± 2021 (ISBN:0 test 出る単特急 朝日新聞出版	978425 銀のフ	55156767) レーズ:新形:		出版社 u-CA	T 事業部編 」
	評価フ	方法	評価割合(%)			評価基準		
	試験		0					
評価方法・ 評価基準	レポー		0			イング関連問題を		
TIM **	サイス 提出物		0		^関 擬アスト、及 を課し達成度を	びそれらの知識す ·評価する。	へてか試され	19 IOEICIP
	その他		100					
履修上の 留意事項	3 3 7 10		120					
履修主題・	回		履修主題				内容	
履修主題・ 履修内容	回 1	ガイタ			イントロダク	履修P		
		ガイタ 演習 1	ブンス		診断テスト、	"ション、単語課題 単語課題 71-140	1-70	
	1		ブンス I		診断テスト、 ミニレクチャ 習、単語課題	7ション、単語課題 単語課題 71-140 7-(1) 第1回 141-210	重 1-70) ホームワーク	
	1 2	演習 1	デンス 		診断テスト、 ミニレクチャ 習、単語課題 ミニレクチャ	7ション、単語課題 単語課題 71-140 7-(1)第1回	重 1-70) ホームワーク	
	1 2 3	演習 2	プンス I 2		診断テスト、 ミニレクチャ 習、単語課題 ミニレクチャ 学習、単語語 ミニレクチャ	プション、単語課題 単語課題 71-140 マー(1) 第1回 141-210 マー(2) 第1回	頁 1-70) ホームワーク ホームワーク	弱点パターン
	1 2 3 4	演習 2	デンス 1 2 3		診断テスト、 ミニレクチャ 習、単語課題 ミニレク 単語 学習、レク 学習、レク 学習、単 学習、 第1回模擬 5	プション、単語課題 単語課題 71-140 アー(1) 第1回 141-210 アー(2) 第1回 課題 211-280 アー(3) 第1回 課題 281-350 テスト、単語課題	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク	対 弱点パターン レベルアップ
	1 2 3 4 5	演習 2 演習 3	プンス 1 2 3 4		診断 ニスク語の ラスク語の リーダー アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ	ギョン、単語課題 単語課題 71-140 ヤー(1)第1回 141-210 ヤー(2)第1回 課題 211-280 ヤー(3)第1回 課題 281-350 モスト、単語課題 ヤー(4)第2回 1421-490	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク 351-420 ホームワーク	対 弱点パターン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイン マイ
	1 2 3 4 5	演習 2 演習 3 演習 3	デンス 1 2 3 4 5		診断 ニスク語の学 第二、 ク語の単の との	ギョン、単語課題 単語課題 71-140 マー(1)第1回 141-210 マー(2)第1回 課題 211-280 マー(3)第1回 課題 281-350 モスト、単語課題 マー(4)第2回 1421-490 マー(5)第2回 課題 491-560	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク 351-420 ホームワーク	タリス 弱点パターン マスティン マスティン マスティン マスティン マスティン 弱点パート学 弱点パターン
	1 2 3 4 5 6 7	演習 2 2 演習 3 演習 3 演習 4 演習 3	デンス 1 2 3 4 5 6 7		診断ニスク語の学生の学生の学生の学生の学生の学生のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ギョン、単語課題 単語課題 71-140 マー(1)第1回 141-210 マー(2)第1回 課題 211-280 マー(3)第1回 課題 281-350 テスト、単語課題 マー(4)第2回 1421-490 マー(5)第2回	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク 351-420 ホームワーク	タリス 弱点パターン マスティン マスティン マスティン マスティン マスティン 弱点パート学 弱点パターン
	1 2 3 4 5 6 7 8	演習 2 演習 3	デンス 1 2 3 4 5 6 7		診断 ニュア ニュア ニア カー・ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ アングラ	学ョン、単語課題 単語課題 71-140 1-(1) 第1回 141-210 1-(2) 第1回 1211-280 1-(3) 第1回 1281-350 1281-350 1382-350 1421-490 1421-490 1421-490 1421-490 1421-490 1421-490 1431-560	1-70 ホームワーク ホームワーク 351-420 ホームワーク ホームワーク ホームワーク	対 弱点パターン ファイン マスティ マスティ マスティ マスティ マスティ マスティ マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マス・マ
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	演習 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	デンス 1 2 3 4 5 6 7 3 9		診 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習 ス ク語ク単ク単 模 ク語ク単ク単 模 ク語ク単ク単 模 ク語ク単ク単 模 ク語 リ レ 回 レ 単 レ 、 レ 、 回 レ 単 レ 、 レ 、 回 レ 単 様 ク 語 欠 手 題 ・ 報 の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の	学ョン、単語課題 単語課題 71-140 マー(1) 第1回 141-210 マー(2) 第1回 課題 211-280 マー(3) 第1回 課題 281-350 マー(4) 第2回 マー(4) 第2回 マー(5) 第2回 課題 491-560 マー(6) 第2回 課題 561-630 マー(7) 第3回 マー(7) 第3回 での1-770	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク	対 弱点パターン が 以 が が が が が が が が が が が が が が が が が
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	演習 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	デンス 1 2 3 4 5 6 7 3 9		診 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習ミ学 第 ミ習ミ学	学ョン、単語課題 単語課題 71-140 1-(1) 第1回 141-210 1-(2) 第1回 1211-280 1-(3) 第1回 1211-280 1-(3) 第1回 12211-350 1231-350 1231-350 1231-350 1231-350 1231-350 1231-350 1331-35	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク	別点パターン 別点パターン 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	デンス 1 2 3 4 5 6 7 3 9 10		診 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習ニ習ニ習 1 二、二習二習 2 二、二習ニ 2 二、二習ニ 2 二、二習ニ 2 二、二習ニ 2 二、二習ニ 2 一、二 9 一 4 位 7 一 4 位 7 一 7 一 7 一 7 一 7 一 7 一 7 一 7 一 7 一 7	学ョン、単語課題 単語課題 71-140 1-(1) 第1回 141-210 1-(2) 第1回 1211-280 1-(3) 第1回 1211-280 1-(3) 第1回 12211-350 1231-35	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク	別点パターン 別点パターン 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	デンス 1 2 3 4 5 6 7 3 9 11 11		診 ミ習ミ学ミ学 第 ミ習ミ学ミ学 第 ニアレ単レ、レ、 回 レ単レ、レ、 回 レ単レ、レ、 回 レ単レ、レ、 回 レ単レ、レ、 ロ ル単レ、レ、 回 ル単レ リン の の が が が が が が が が が が が が が が が が が	学ョン、単語課題 学語課題 71-140 (1) 第1回 (1) 第1回 (1) 第1回 (2) 第1回 (2) 第1回 (2) 第1回 (2) 第1回 (2) 第1回 (2) 第2回 (4) 第2回 (5) 第2回 (6) 第2回 (7) 第3回 (7) 第3回 (7) 701-770 (7) 70 第3回 (8) 第3回 (8) 8 (8) 8 (8) 8 (8) 8 (8) 8 (8) 8 (8) 8 (8)	1-70 ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク ホームワーク	別点パターン 別点パターン 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学 別点パート学

授業科目	TOEIC 英語対策 B	担当教員	
		実務 経験	
対象年次・学期	1年・後期	担当 教員	
授業形態		実務 経験	
		担当 教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務 経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当教員	
		実務経験	
		担当 教員	
		実務経験	